

最近の消費・輸入動向等について

《 目 次 》

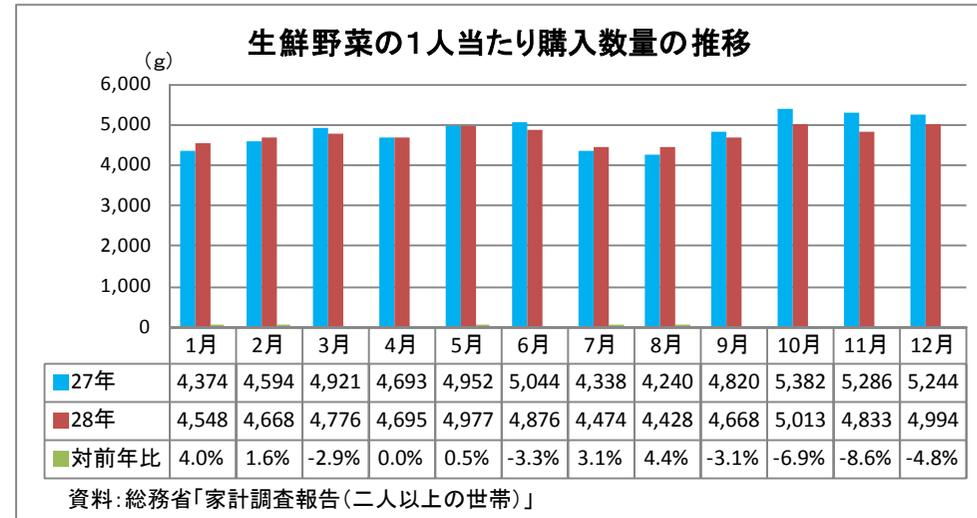
1. 家計における購入、支出動向等
 - (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入 P. 1～4
 - (2) 野菜の摂取量 P. 5
2. 小売の販売動向
 - (1) チェーンストア P. 6
 - (2) スーパーマーケット P. 7
 - (3) 品目別小売・卸売価格 P. 8～11
3. 輸入の動向 P. 11～13
4. 平成27年産春野菜主要品目の主産県別生産・出荷等 P. 14
5. 今後の気象予報 P. 16～17

1. 家計における購入、支出動向等

(1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入

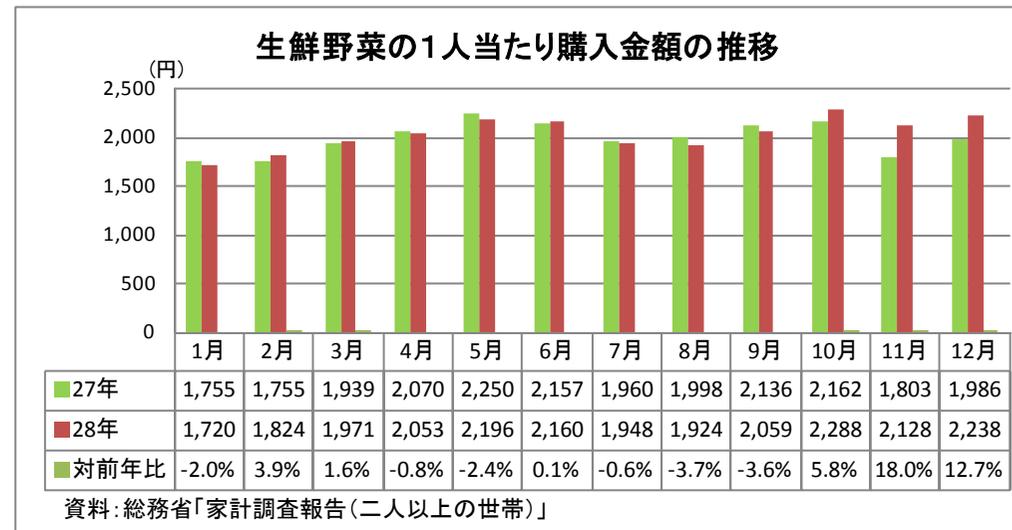
<購入数量>

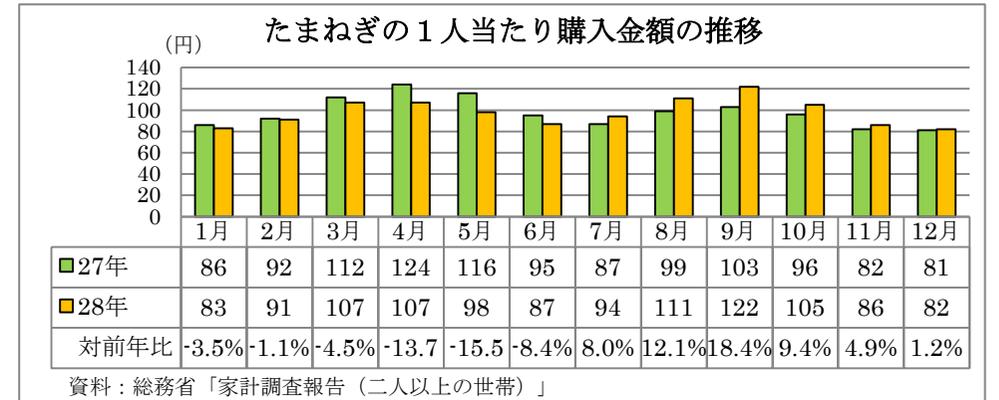
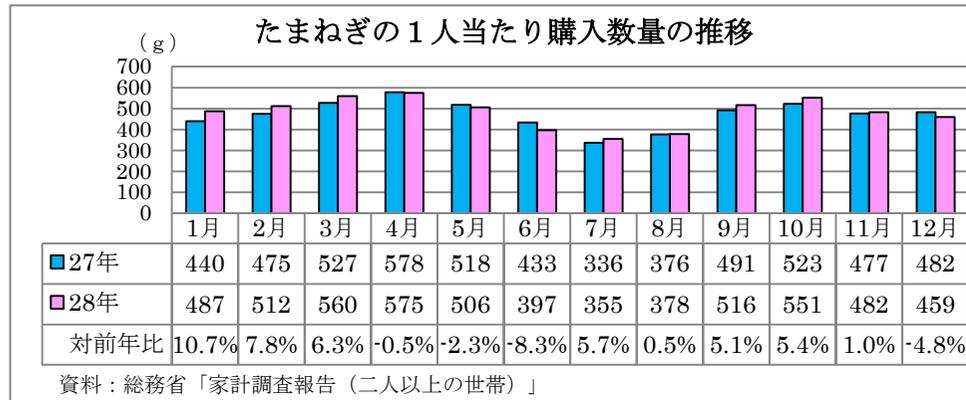
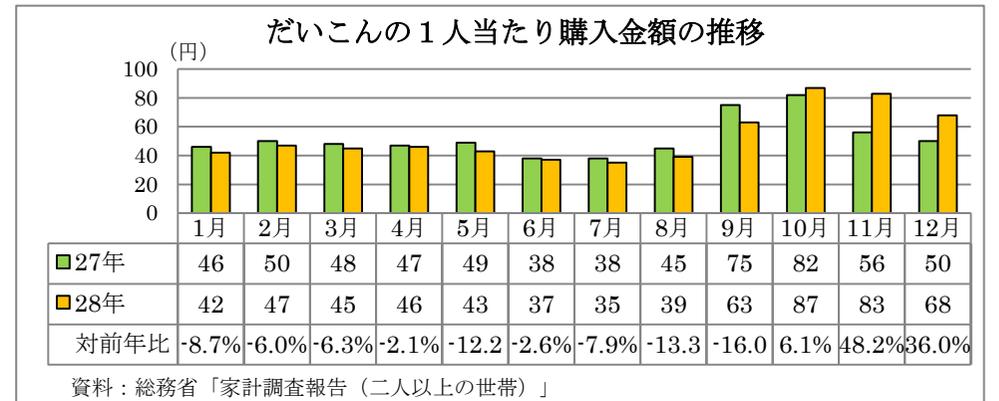
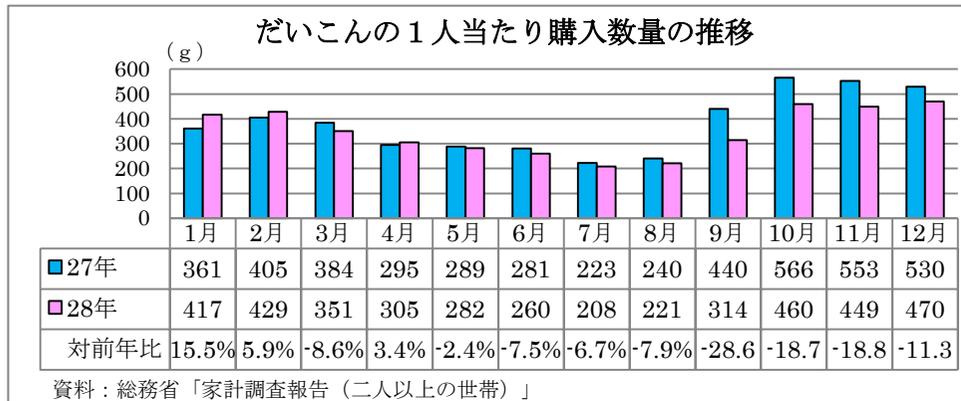
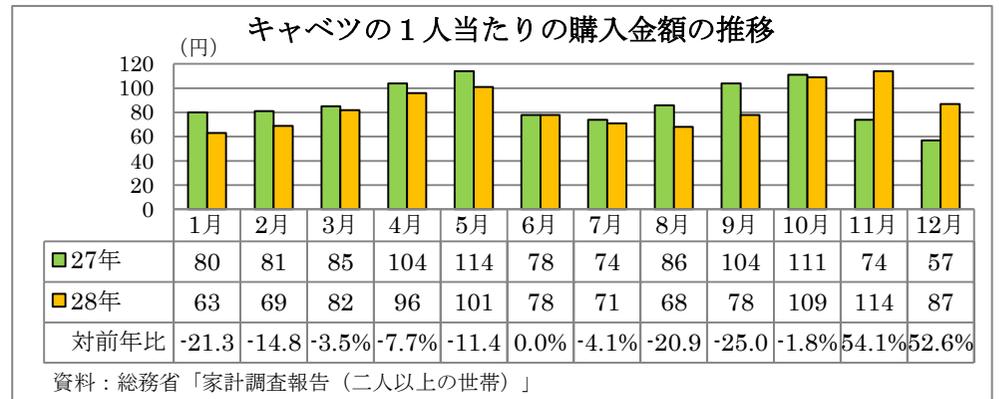
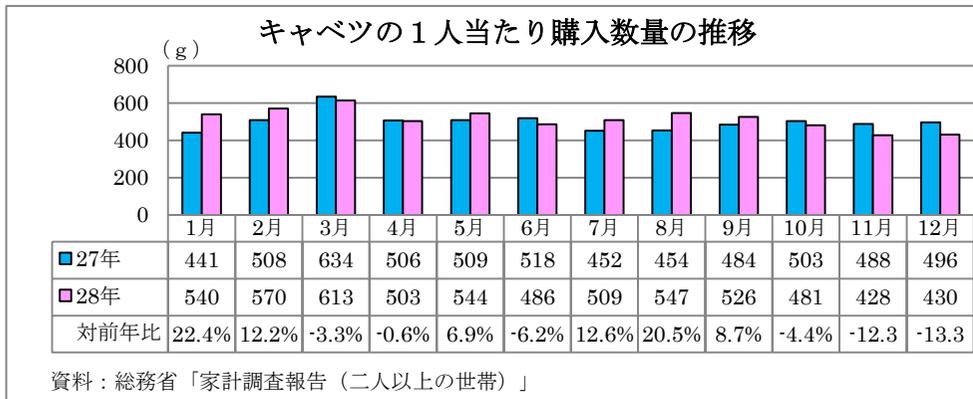
- 生鮮野菜の1人当たりの購入数量は、平成28年1月～2月は、だいこん等が、天候に恵まれて前進出荷傾向となったため出荷数量が増加し、前年に比べて安値となったことから、前年を上回ったが、3月は前進出荷の影響がでて出荷数量が減少したため、前年を下回った。
- 6月は、たまねぎ等の病害の発生などにより出荷数量が減少し、前年に比べて高値となったことから、前年を下回ったが、7月、8月は、キャベツ等の生育が順調で出荷数量が増加し、前年に比べて安値となったことから、前年を上回った。
- 9月以降は、8月の台風被害や9月以降の長雨・日照不足等により、主要野菜の出荷数量が減少し、前年に比べて高値となったことから、前年を下回った。

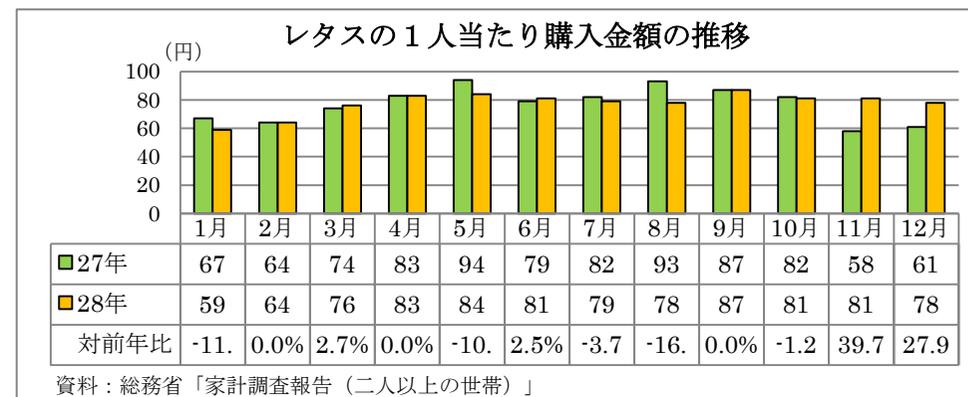
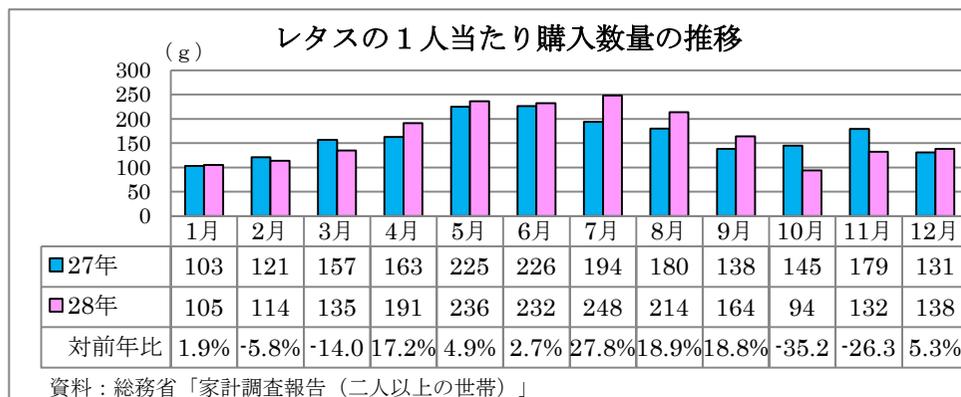
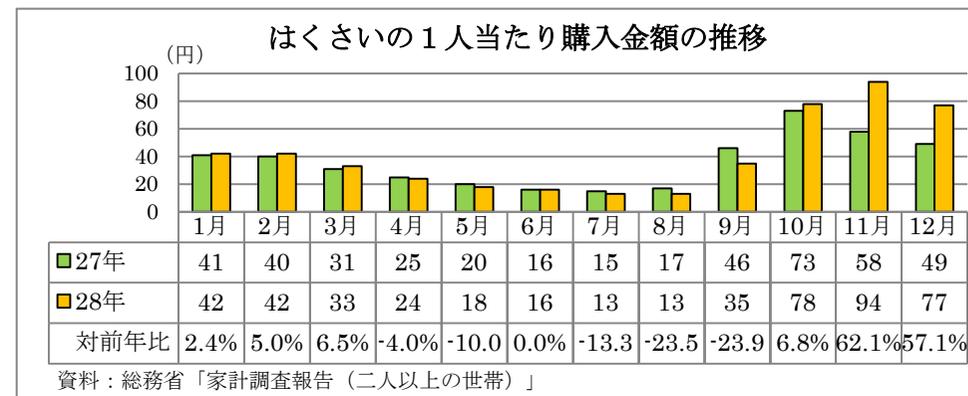
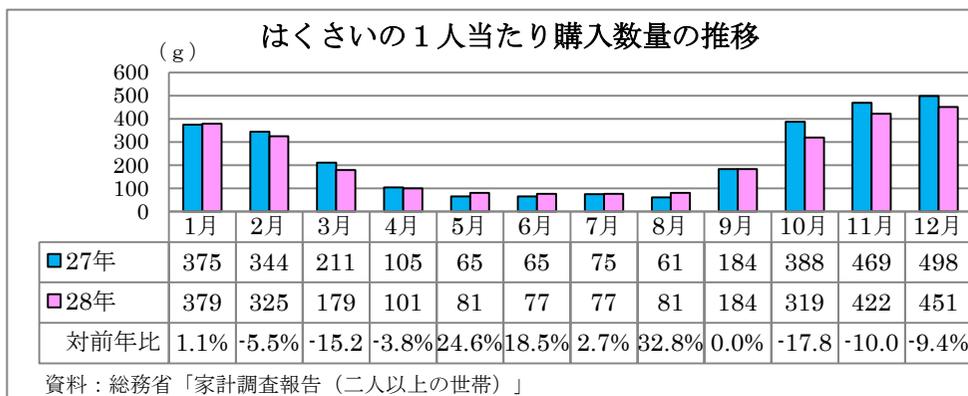
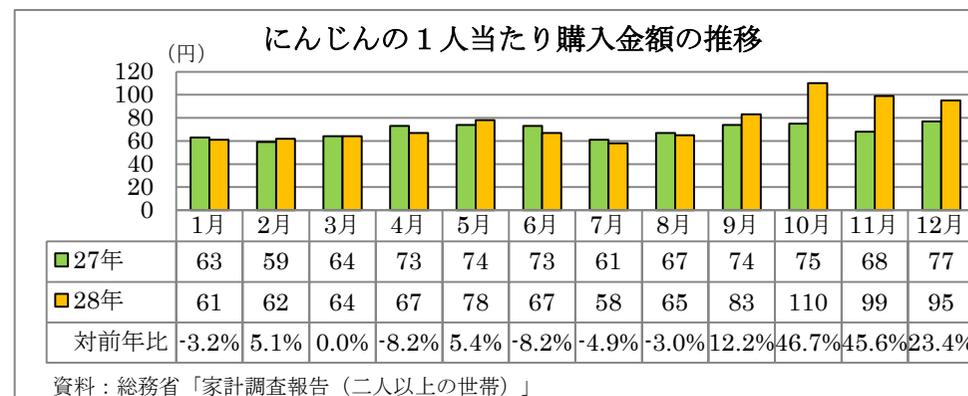
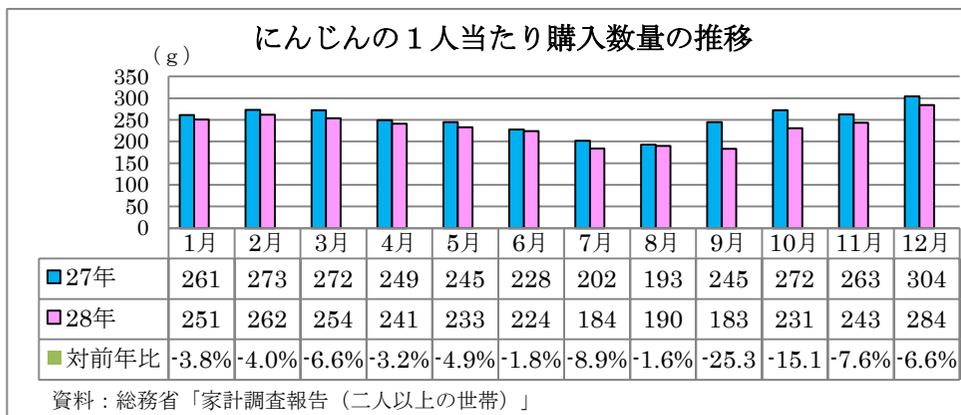


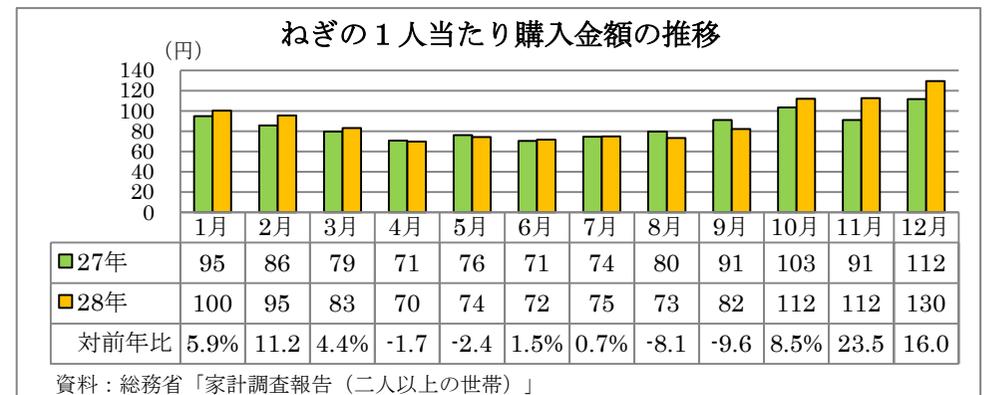
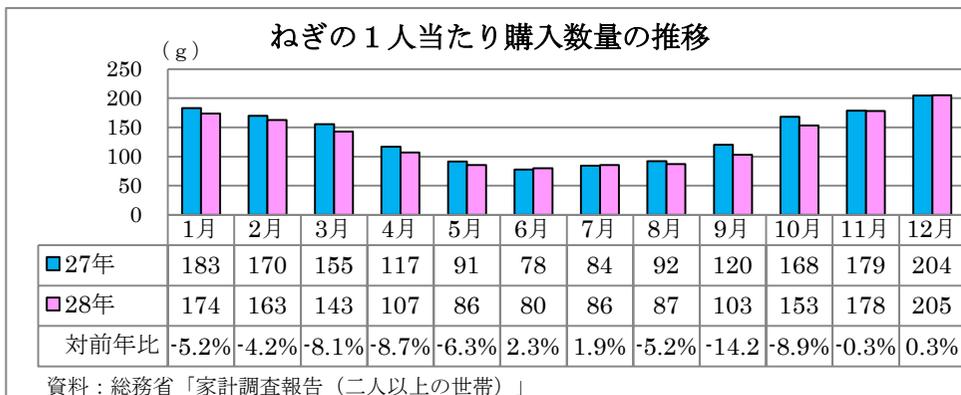
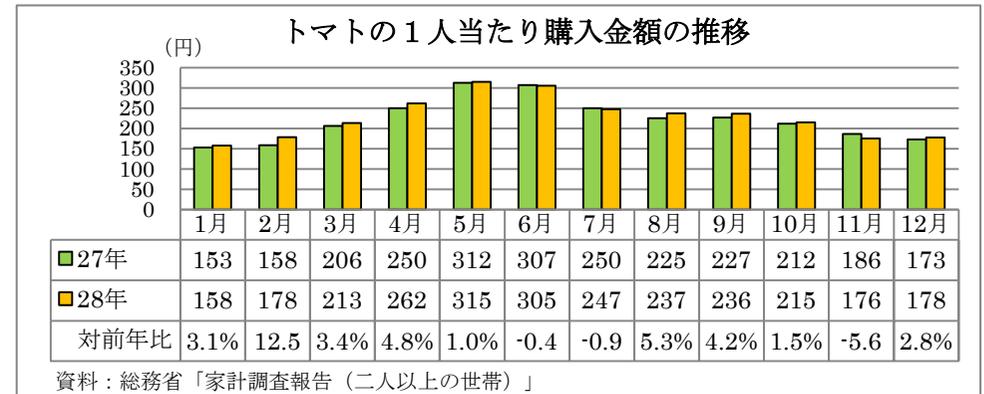
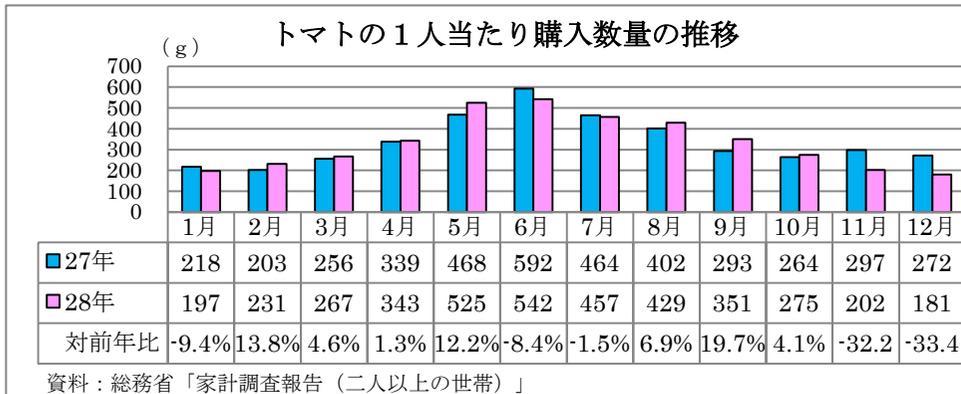
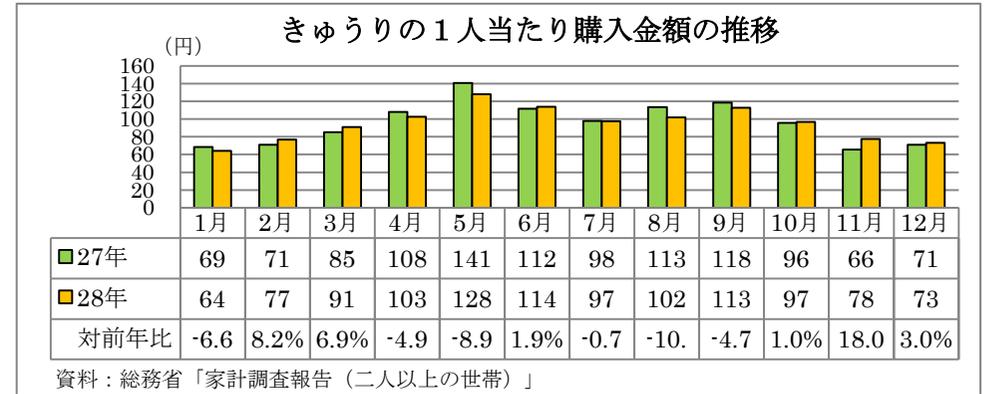
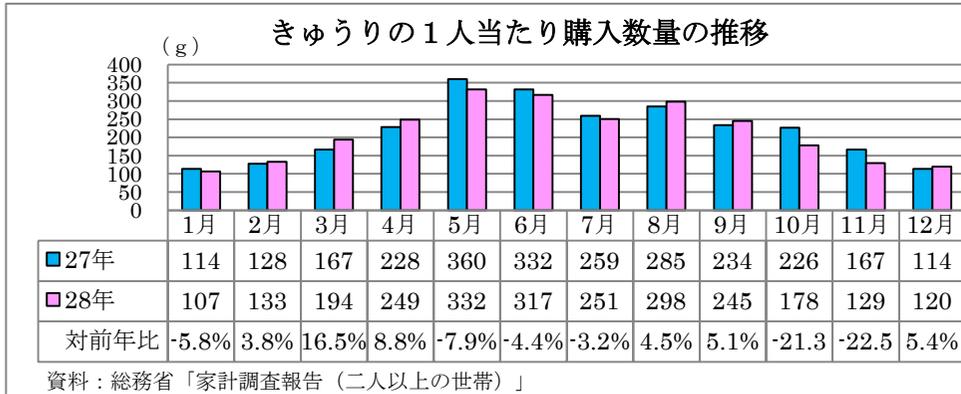
<購入金額>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入金額は、1月は出荷が順調で引合いが弱まり、価格も平年を下回ったことから、前年を下回ったが、2月には、端境等で引き合いが強まり、価格も平年を上回ったことから前年を上回った。
- 5月、8月は、出荷が順調で引合いが弱まり、価格が前年に比べかなり低下したことなどから、前年を下回った。
- 9月は天候不順により小売店への来客数が減少して前年を下回った。10月以降は、主要野菜の価格が、天候不順による品薄感から、総じて高値となったことから、前年を上回って推移した。



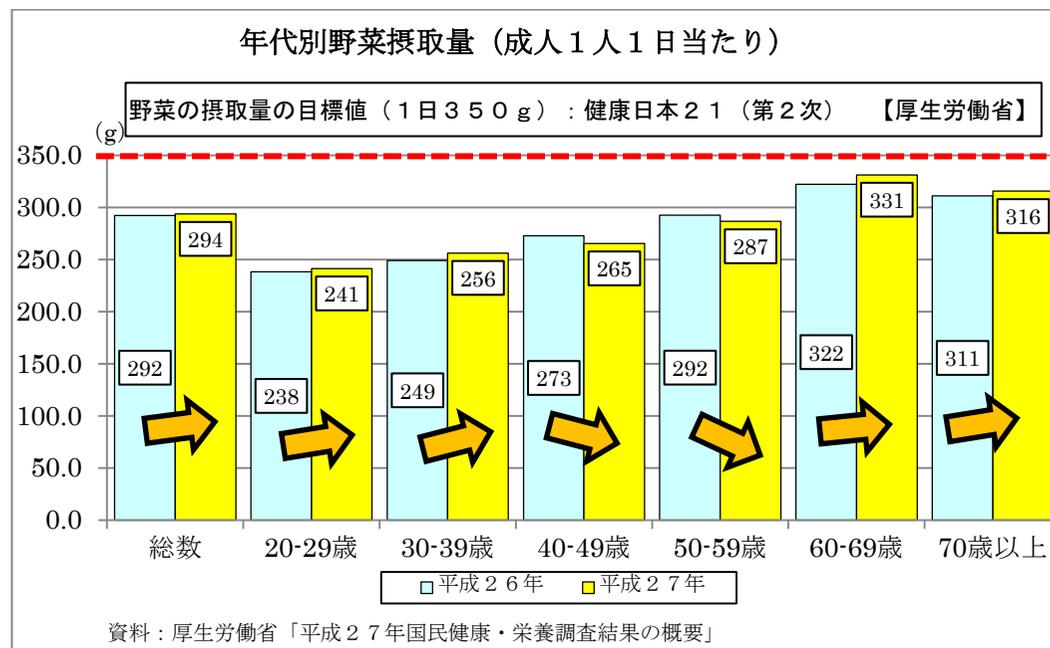




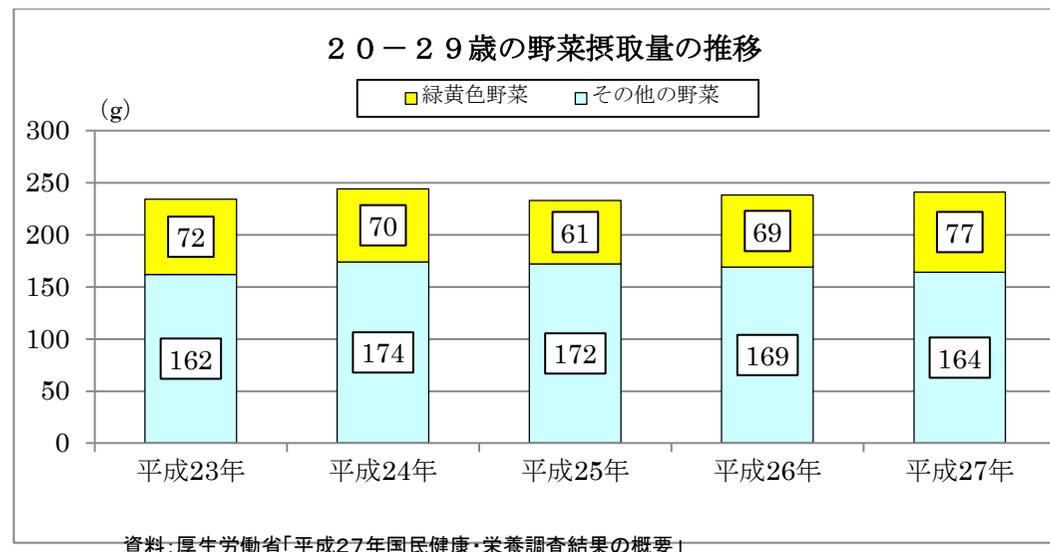


(2) 野菜の摂取量

- 平成27年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年に比べて増加し、総数は294グラム（前年比101%）となったが、依然として、健康日本21（第2次）で示された野菜の摂取量の目標値（1日350g）を下回っている。
- また、40及び50代は、平成26年は対前年で大きく伸びたが平成27年は減少に転じた。それ以外の世代は前年よりも野菜摂取量が増加しているものの、どの年代も目標値には達しておらず、これまでと同様に20代が一番低い水準となっている。



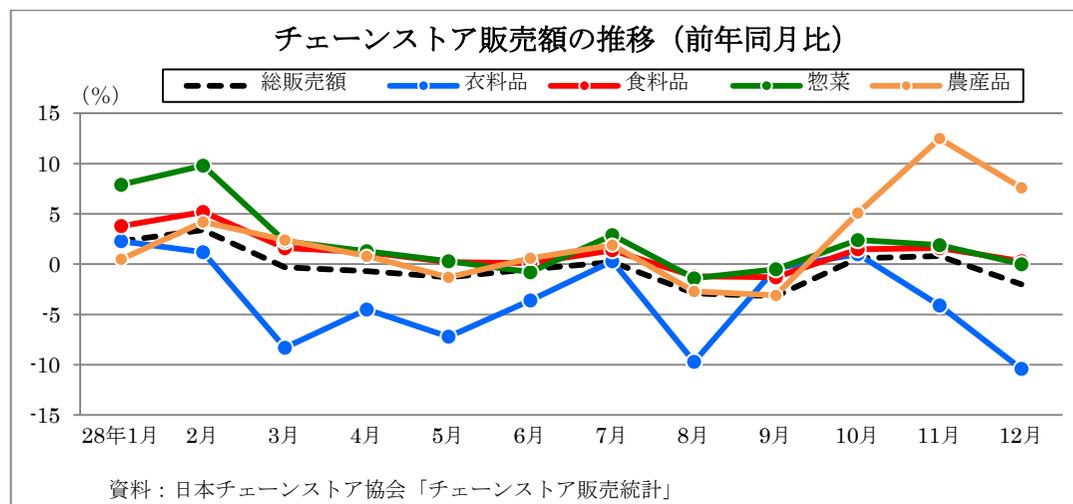
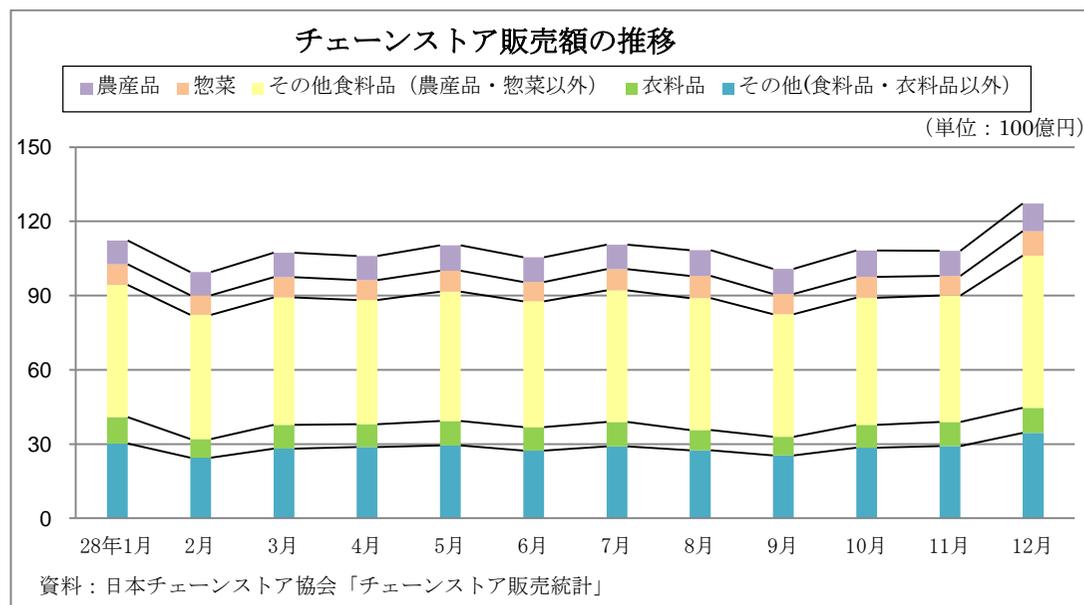
- 野菜摂取量が最も少ない20代の過去5年間の動向を見ると、ほぼ横ばいで推移している。緑黄色野菜とその他の野菜別に見ると、その他の野菜が減少（前年3.0%減）したものの、緑黄色野菜が増加（前年11.6%増）して、全体では増加（前年比1.3%増）となった。



2. 小売の販売動向（平成28年1月～平成28年12月）

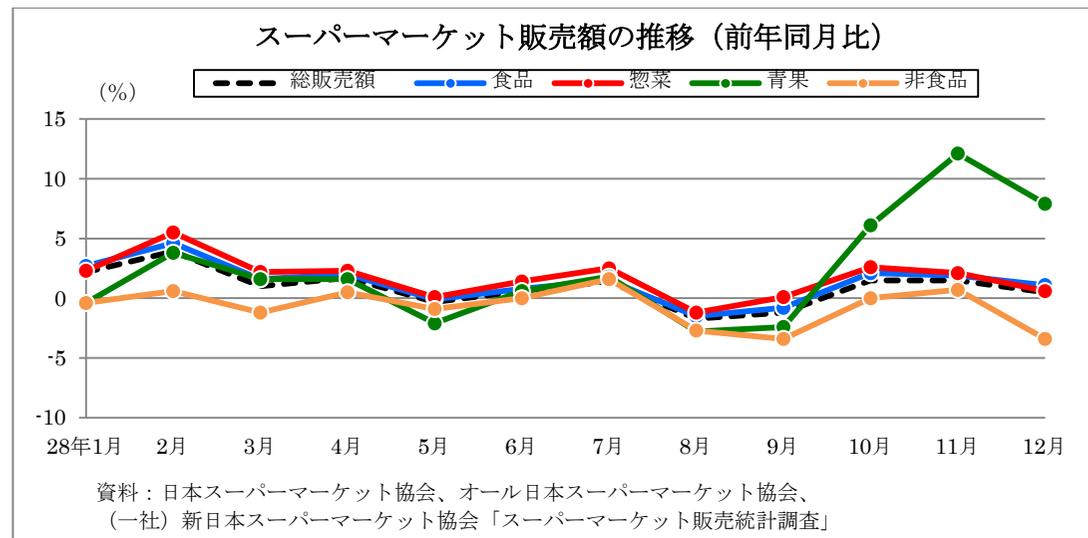
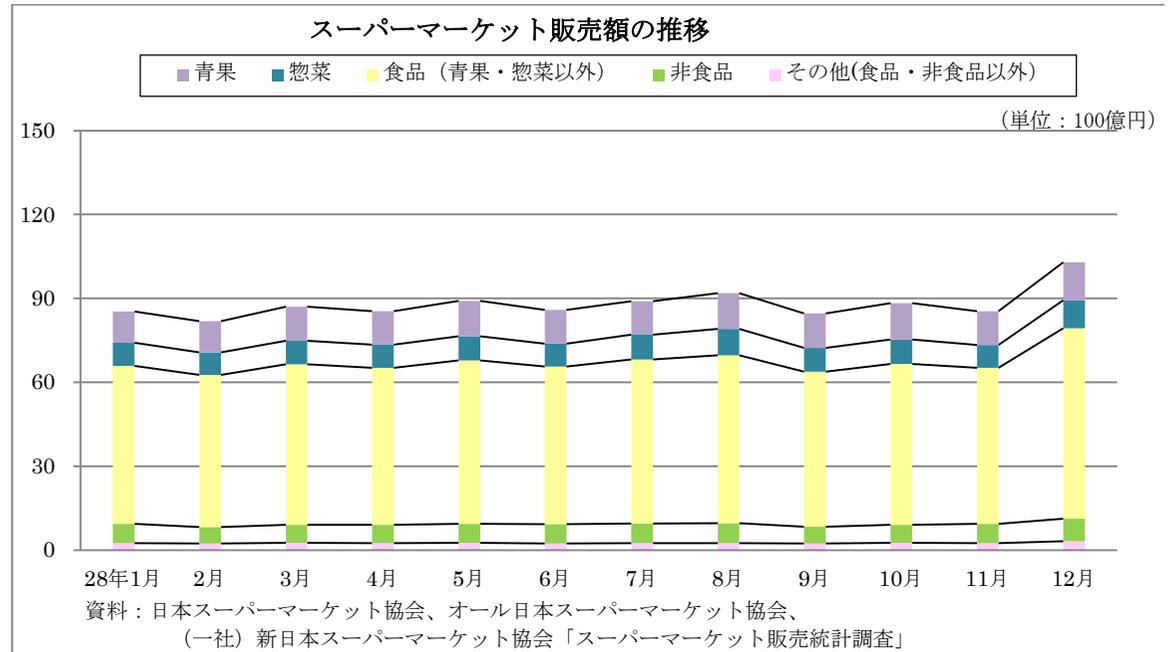
（1）チェーンストア

- 総販売額については、最高額は12月の1兆2,721億円、最低額は2月の9,952億円であった。
前年同月比の動向は、3月から6月、8月及び9月、12月を除いて前年を上回った。特に、閏年で営業日数が1日多かった2月が最も大きく上回った。
3月から6月、8月及び9月、12月については、衣料品が苦戦して不調に終わったことや、特に、8月及び9月は天候不順等による来客数の減少で前年を下回った。
- 農産品については、最高額は12月の1,113億円、最低額は2月の932億円であった。
前年同月比の動向は、5月、8月、9月を除いて前年を上回った。特に、10月以降は天候不順による相場高で前年を上回った。
5月は、相場安の影響で前年を下回り、8月及び9月は天候不順等による来客数の減少で前年を下回った。
- 惣菜については、最高額は12月の995億円、最低額は6月の782億円であった。
前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりで消費者に支持され、6月、8月、9月を除いて前年を上回った。6月は和惣菜の動きが鈍く、8月及び9月は天候不順等による来客数の減少で前年を下回った。

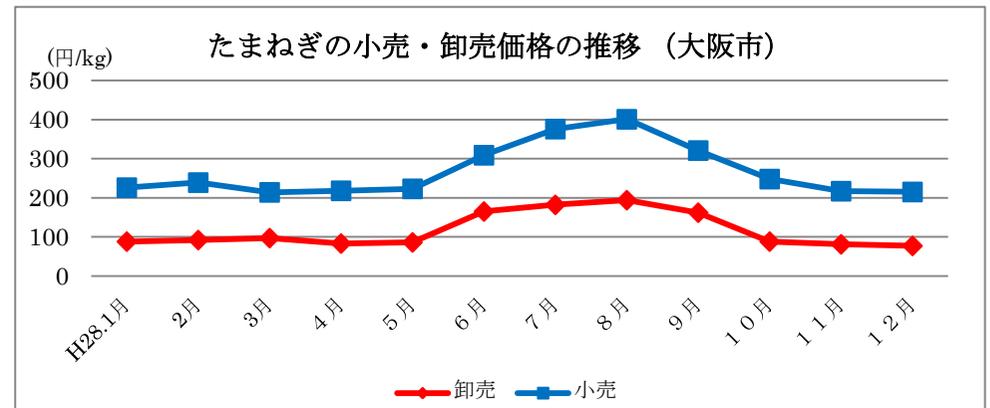
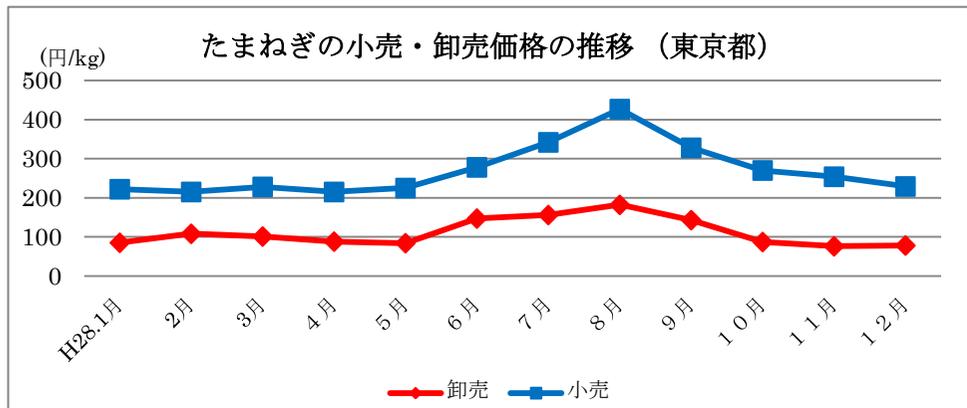
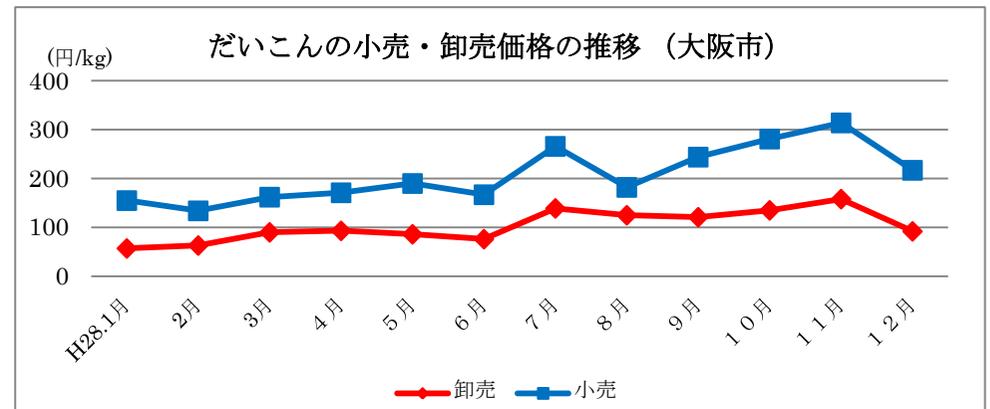
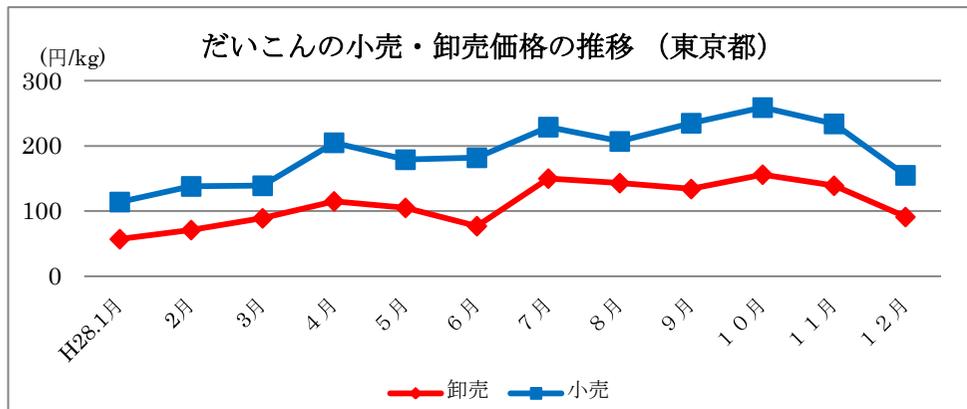
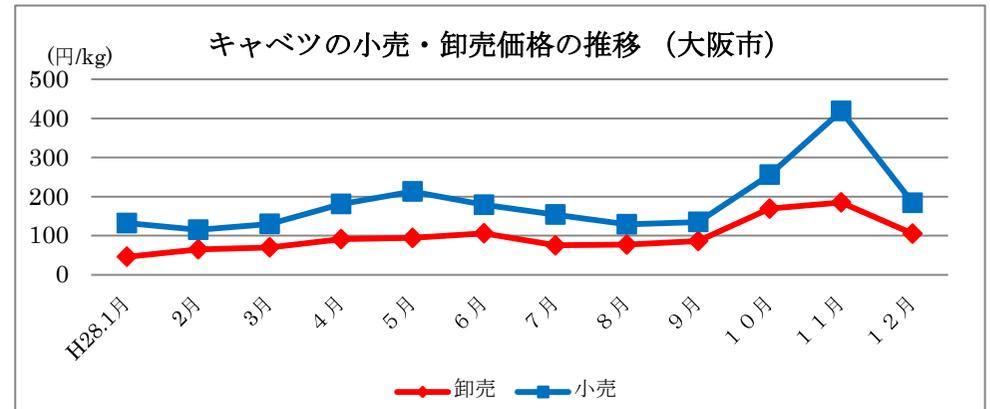
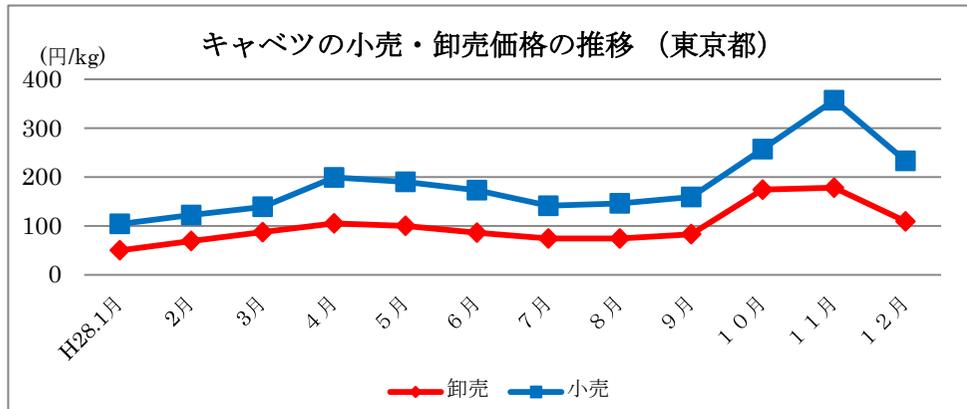


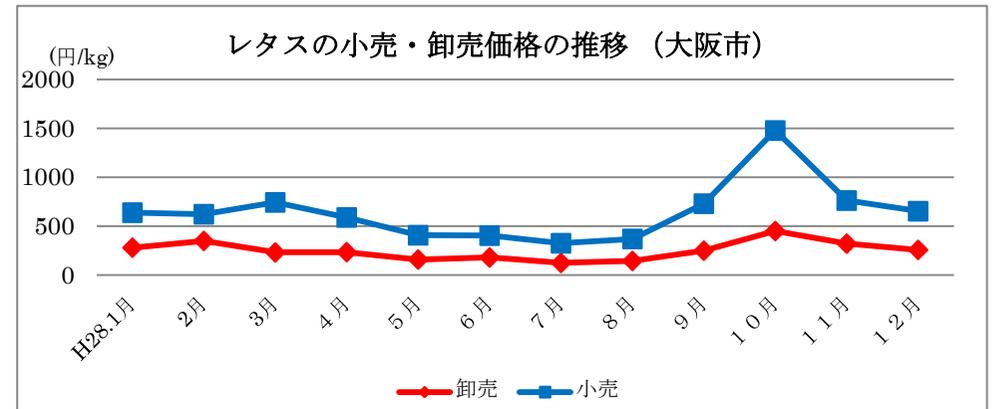
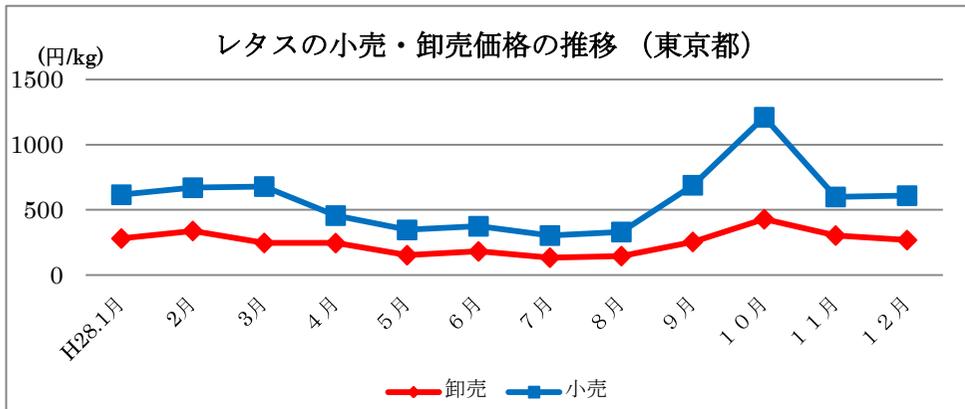
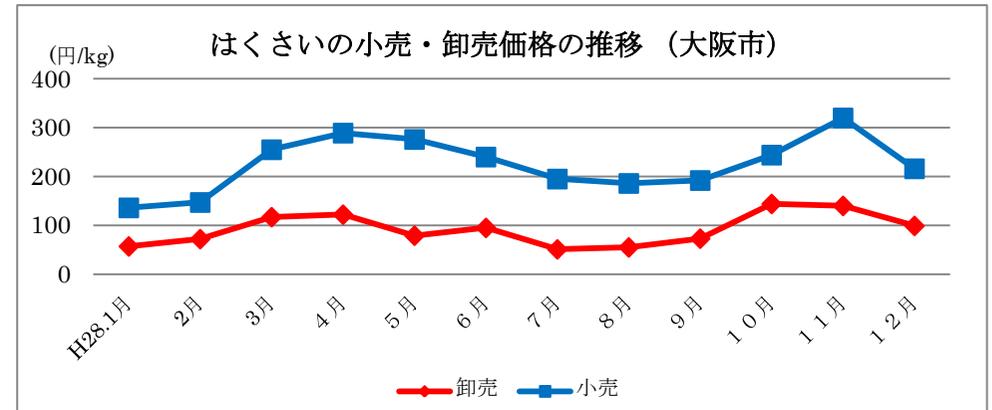
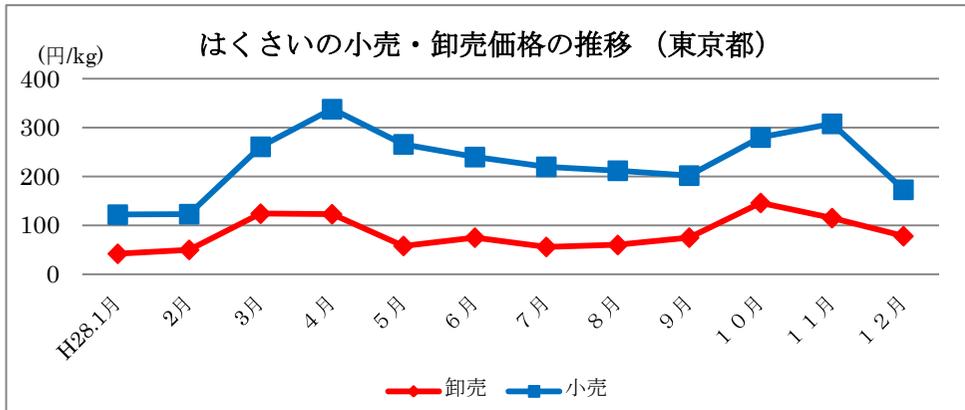
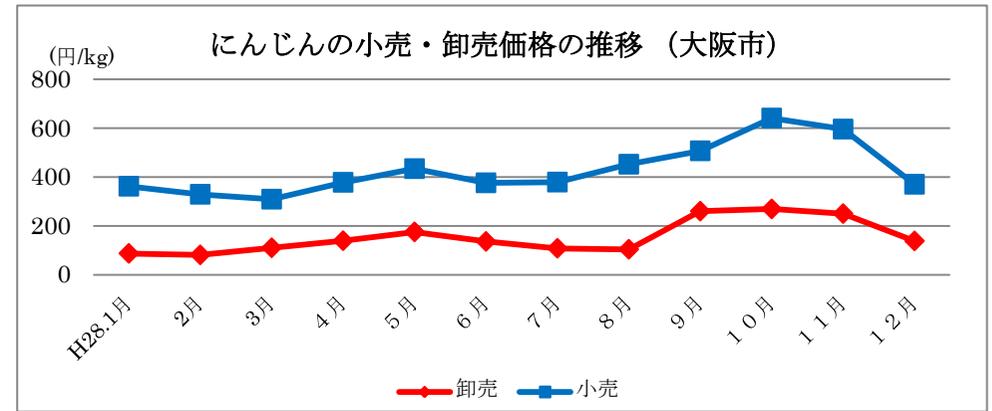
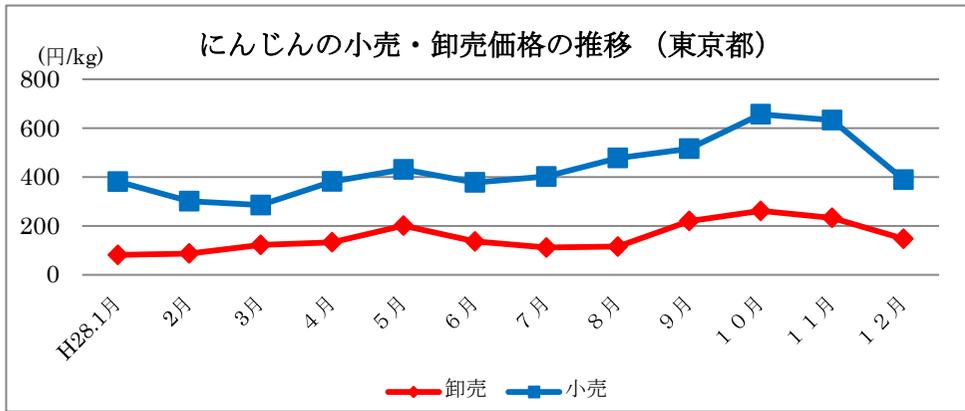
(2) スーパーマーケット（平成28年1月～平成28年12月）

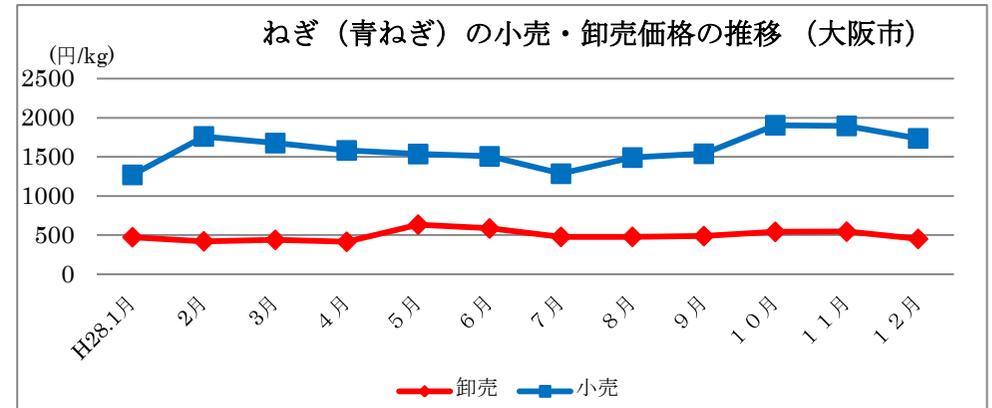
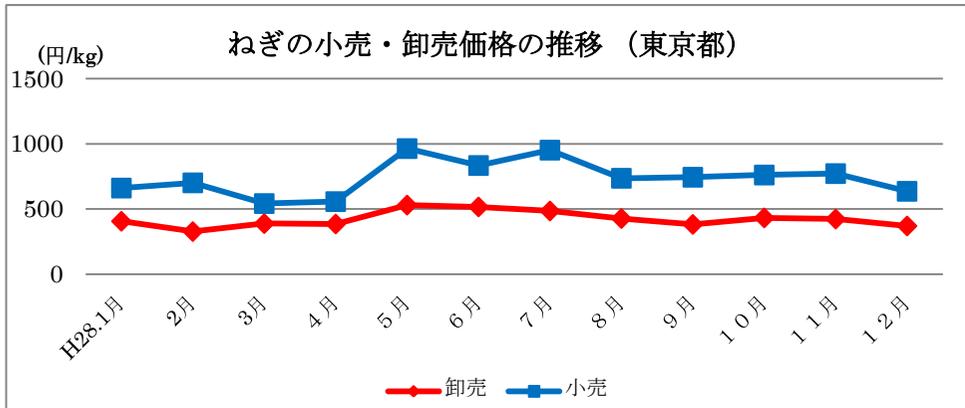
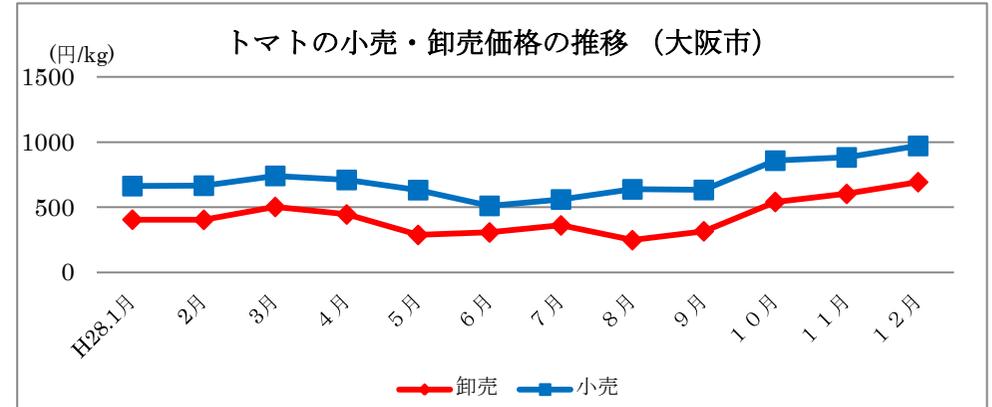
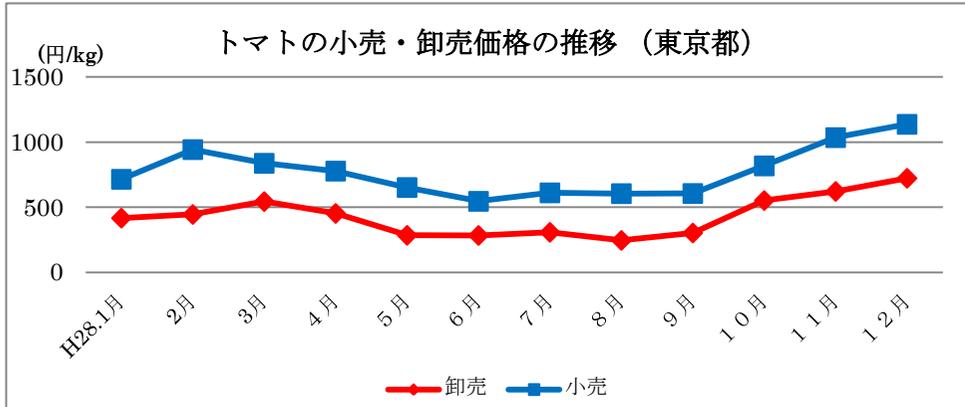
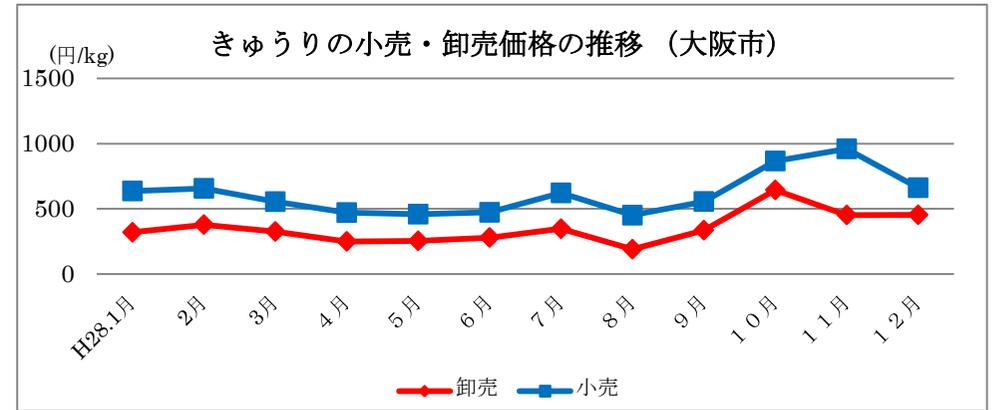
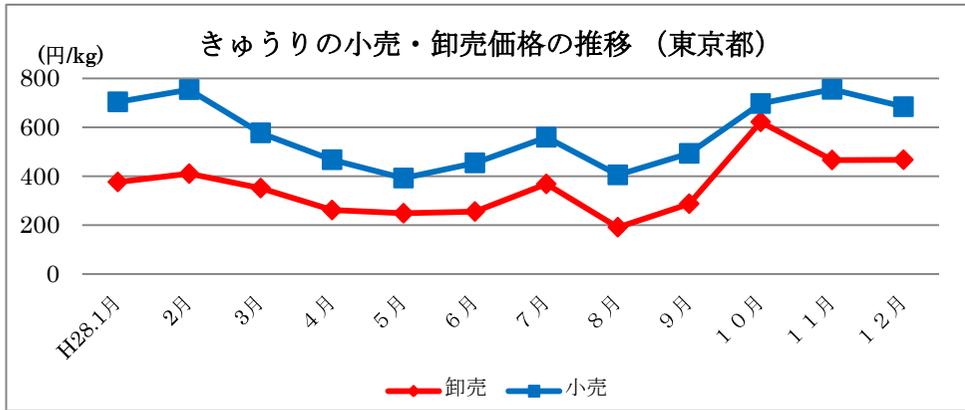
- 総販売額については、最高額は12月の1兆294億円、最低額は2月の8,187億円であった。前年同月比の動向は、5月、8月、9月を除く全ての月で前年を上回り、特に、閏年で営業日数が1日多かった2月が最も大きく上回った。5月は、野菜の生育が順調で昨年と比べて相場安となったことや、8月は、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けたため、前年を下回った。9月は天候不順で来客数が減少し前年を下回った。
- 青果については、最高額は12月の1,358億円、最低額は2月の1,114億円であった。前年同月比の動向は、1月、5月、8月及び9月を除いて前年同月を上回った。特に、10月以降は天候不順による相場高で前年を上回った。1月及び5月は、天候に恵まれて生育が順調であったことから相場安となり前年を下回った。8月は、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けたため、前年を下回った。9月は天候不順で来客数が減少し前年を下回った。
- 惣菜については、最高額は12月の1,007億円、最低額は2月の814億円であった。前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりなどにより支持され、8月を除いて前年を上回った。8月は、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けたため、前年を下回った。



(3) 品目別小売・卸売価格

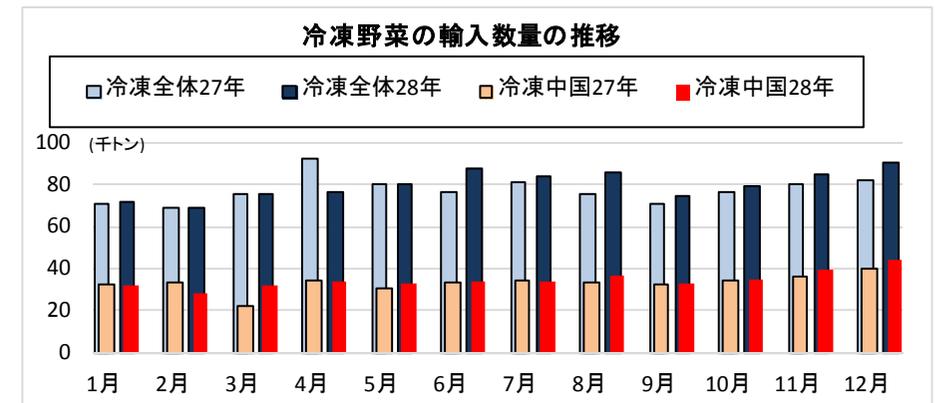
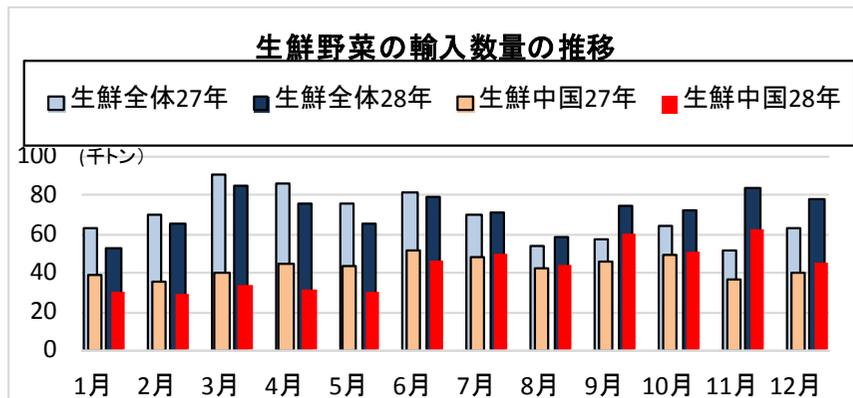
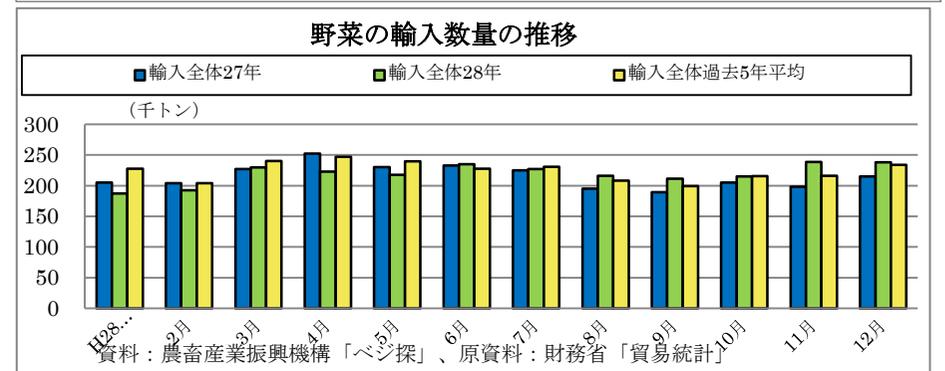
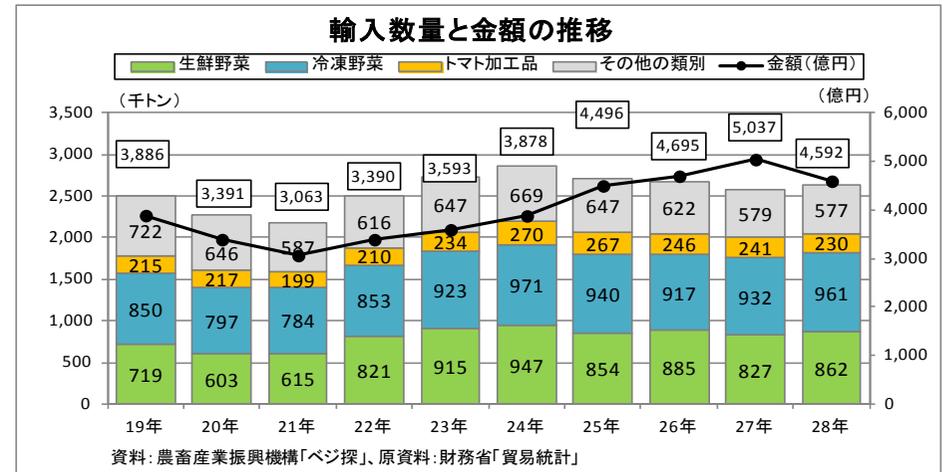




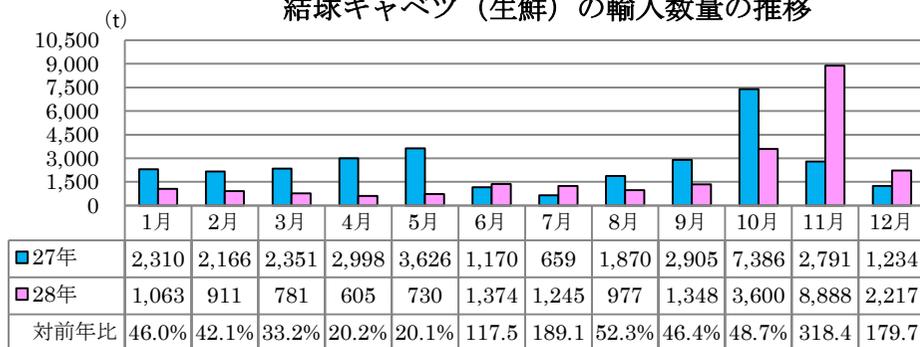


3. 輸入の動向

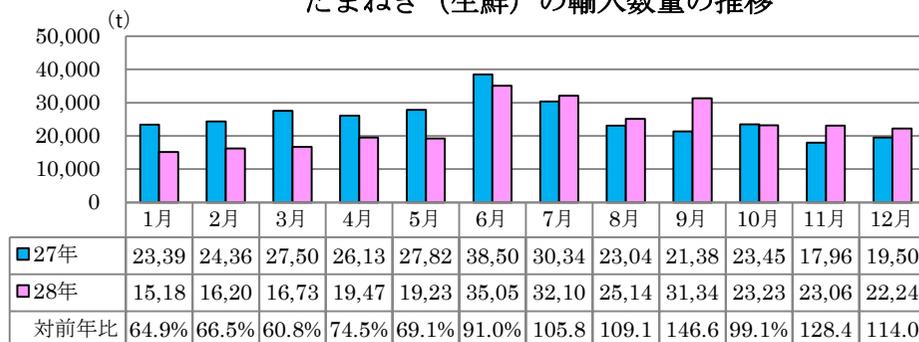
- 野菜の輸入数量は、平成24年以降減少傾向で推移していたが、平成28年は、国内産が天候不順等の影響等により出荷数量が減少したため、生鮮野菜及び冷凍野菜の輸入数量が増加したことから、前年比102%増の263万トン(+52千トン)となった。
- 一方、輸入金額は、円安等による輸入価格の上昇により過去最高だった平成27年に比べ、平成28年は、円高傾向となったこともあり、前年比91%減の4,592億円(▲445億円)となった。
- 月別の輸入数量は、6月以降、国内需要の高まりによる冷凍ばれいしょ等の輸入量の増加、天候不順による国内産の出荷数量の減少による生鮮野菜の輸入量の増加により7カ月連続で前年を上回った。
- 生鮮野菜の輸入数量は、国内産が、7月はにんじん等の主要産地で前進出荷で切り上がり早まり、8月は佐賀県産等のたまねぎが病害の影響により、9月以降は天候不順等の影響を受け、それぞれ出荷数量が減少したことにより、輸入数量が前年を上回った。
- 冷凍野菜の輸入数量は、6月から8月は、ばれいしょ等がファストフード等の国内需要が堅調で輸入量が前年を上回り、9月以降は国内産が天候不順等の影響を受けたことにより、ばれいしょ及びスイートコーン等の輸入量が前年を上回った。



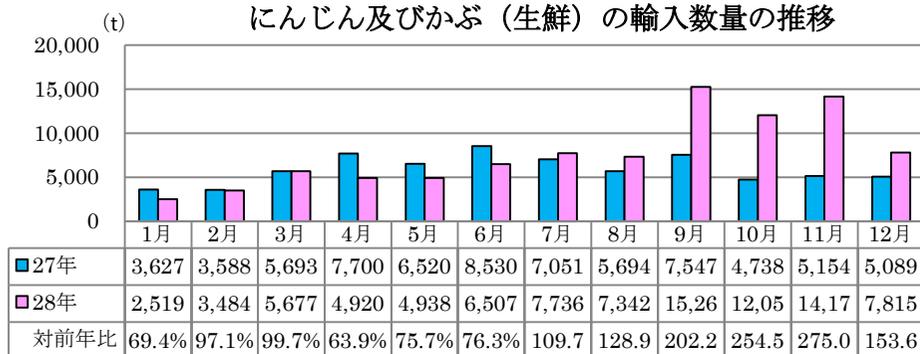
結球キャベツ（生鮮）の輸入数量の推移



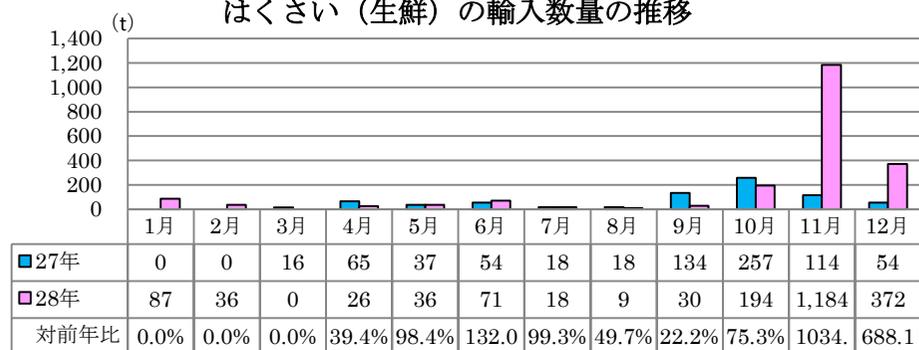
たまねぎ（生鮮）の輸入数量の推移



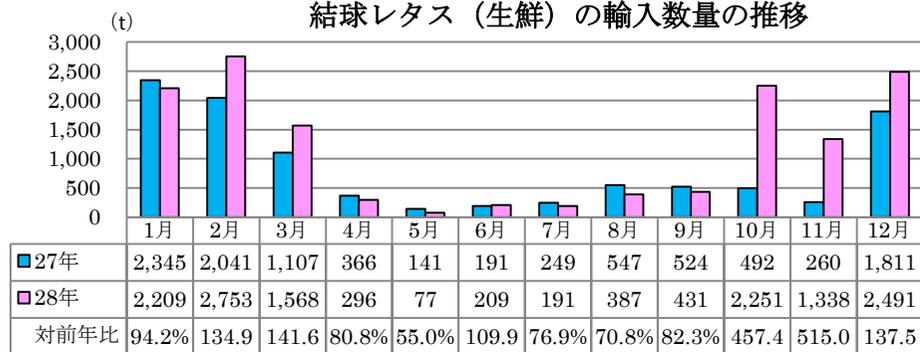
にんじん及びかぶ（生鮮）の輸入数量の推移



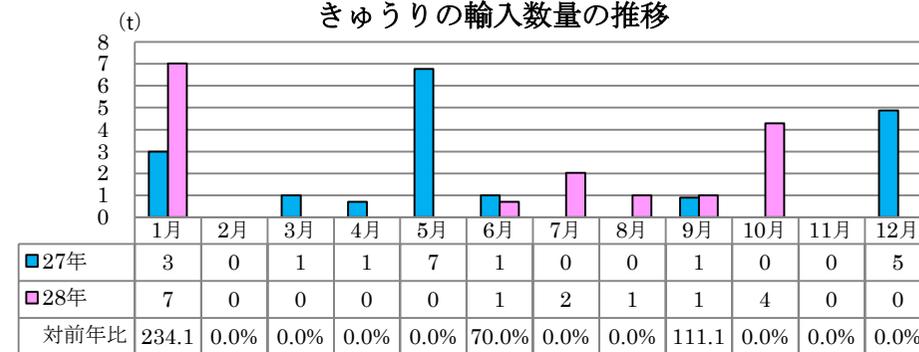
はくさい（生鮮）の輸入数量の推移

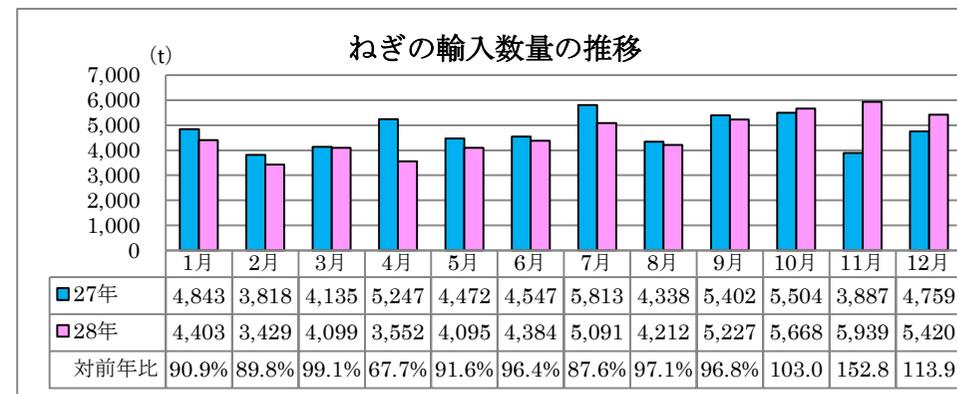
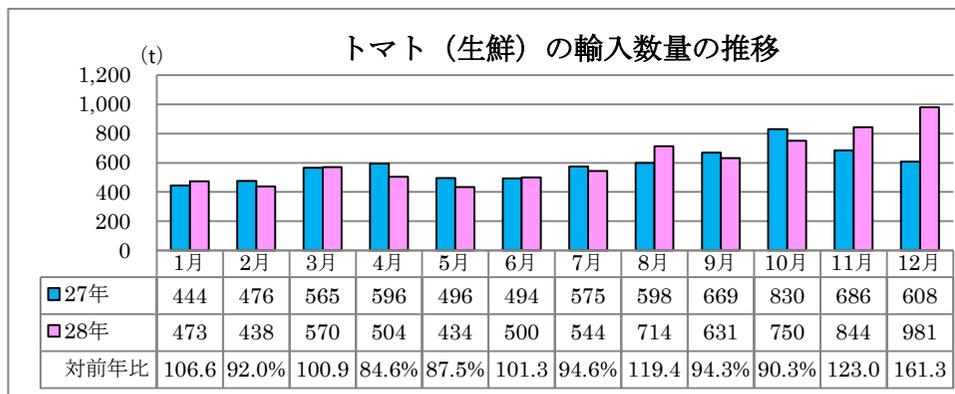


結球レタス（生鮮）の輸入数量の推移



きゅうりの輸入数量の推移





資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

4. 平成27年産春野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)」
平成28年12月2日公表

○ 春キャベツ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	9,110	4,060	369,900	330,100	100.0
1	千 葉	1,300	4,420	57,500	52,300	16.2%
2	愛 知	1,290	4,820	62,200	58,800	18.2%
3	神 奈 川	1,010	4,660	47,100	45,100	14.0%
4	茨 城	896	5,200	46,600	43,200	13.4%
5	鹿 児 島	404	3,980	16,100	14,400	4.5%
6	兵 庫	348	3,230	11,200	9,430	2.9%
7	熊 本	302	3,370	10,200	9,440	2.9%
8	福 岡	288	3,770	10,900	9,990	3.1%
9	宮 崎	203	4,030	8,180	7,330	2.3%
10	埼 玉	160	3,800	6,080	4,320	1.3%

○ 春だいこん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	4,600	4,730	217,400	193,500	100.0%
1	千 葉	1,160	5,400	62,600	56,600	29.3%
2	青 森	433	5,600	24,200	22,700	11.7%
3	鹿 児 島	329	4,580	15,100	13,700	7.1%
4	茨 城	306	4,500	13,800	11,400	5.9%
5	長 崎	260	7,080	18,400	17,200	8.9%
6	北 海 道	189	5,070	9,580	9,120	4.7%
7	愛 知	189	3,730	7,050	6,610	3.4%
8	熊 本	167	2,880	4,810	4,230	2.2%
9	埼 玉	158	4,880	7,710	6,120	3.2%
10	神 奈 川	110	5,060	5,570	5,020	2.6%

○ たまねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	25,700	4,920	1,265,000	1,124,000	100.0%
1	北 海 道	14,200	5,770	819,300	761,900	67.8%
2	佐 賀	2,700	4,400	118,800	108,100	9.6%
3	兵 庫	1,730	5,310	91,900	81,100	7.2%
4	長 崎	776	4,020	31,200	28,000	2.5%
5	愛 知	607	4,700	28,500	25,100	2.2%
6	熊 本	332	3,410	11,300	9,590	0.9%
7	静 岡	310	3,620	11,200	10,100	0.9%
8	愛 媛	254	3,310	8,410	6,030	0.5%
9	新 潟	251	1,860	4,670	2,290	0.2%
10	栃 木	239	4,830	11,500	9,930	0.9%

○ 春夏にんじん

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	4,520	3,670	165,800	149,900	100.0%
1	徳 島	1,010	5,110	51,600	47,000	31.4%
2	千 葉	710	3,580	25,400	23,200	15.5%
3	青 森	627	3,400	21,300	19,600	13.1%
4	長 崎	299	3,570	10,700	10,000	6.7%
5	北 海 道	291	3,080	8,960	8,510	5.7%
6	熊 本	239	3,060	7,310	6,650	4.4%
7	埼 玉	191	3,160	6,040	5,440	3.6%
8	茨 城	186	3,850	7,160	6,320	4.2%
9	宮 崎	142	3,840	5,450	5,070	3.4%
10	岐 阜	69	4,220	2,910	2,730	1.8%

○ 春はくさい

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	1,870	5,890	110,100	100,600	100.0%
1	茨 城	635	7,130	45,300	43,400	43.1%
2	長 野	321	6,870	22,100	19,600	19.5%
3	長 崎	188	7,290	13,700	12,900	12.8%
4	熊 本	160	4,340	6,940	6,560	6.5%
5	鹿 児 島	66	3,770	2,500	1,980	2.0%
6	大 海	63	3,670	2,310	2,100	2.1%
7	北 海 道	45	5,110	2,300	2,190	2.2%
8	岡 山	41	5,080	2,090	1,750	1.7%
9	愛 知	34	4,530	1,540	1,420	1.4%
10	栃 木	29	6,580	1,910	1,760	1.7%

○ 春レタス

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	4,330	2,610	113,200	105,900	100.0%
1	茨 城	1,480	2,500	37,000	35,900	33.9%
2	長 野	526	3,380	17,800	16,900	16.0%
3	兵 庫	397	2,430	9,650	9,330	8.8%
4	福 岡	241	1,970	4,750	4,430	4.2%
5	長 崎	200	3,970	7,940	7,280	6.9%
6	香 川	159	2,190	3,480	3,230	3.1%
7	群 馬	121	3,600	4,360	4,090	3.9%
8	熊 本	84	2,760	2,320	2,150	2.0%
9	栃 木	83	2,530	2,100	2,010	1.9%
10	北 海 道	77	4,340	3,340	3,070	2.9%

○ 冬春きゅうり

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	2,850	10,100	289,200	270,300	100.0%
1	宮 崎 県	577	9,750	56,300	53,700	19.9%
2	群 馬 県	301	10,700	32,200	29,200	10.8%
3	埼 玉 県	257	10,900	28,000	25,500	9.4%
4	千 葉 県	221	11,800	26,100	24,100	8.9%
5	茨 城 県	157	10,500	16,500	15,700	5.8%
6	高 知 県	136	17,300	23,500	22,600	8.4%
7	福 島 県	99	8,080	8,000	7,560	2.8%
8	神 奈 川 県	93	5,410	5,030	4,730	1.7%
9	熊 本 県	77	8,530	6,570	6,310	2.3%
10	佐 賀 県	74	10,600	7,840	7,500	2.8%

○ 冬春トマト

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	3,970	9,620	382,100	362,700	100.0%
1	熊 本 県	821	12,300	101,000	98,400	27.1%
2	愛 知 県	403	9,000	36,300	34,800	9.6%
3	千 葉 県	309	7,510	23,200	21,500	5.9%
4	栃 木 県	226	12,500	28,300	27,100	7.5%
5	宮 崎 県	171	9,420	16,100	15,200	4.2%
6	静 岡 県	149	6,930	10,300	9,800	2.7%
7	茨 城 県	144	8,700	12,500	11,900	3.3%
8	群 馬 県	135	8,570	11,600	10,600	2.9%
9	福 岡 県	132	13,800	18,200	17,200	4.7%
10	埼 玉 県	118	10,500	12,400	11,500	3.2%

○ 春ねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 穫 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	2,850	10,100	289,200	270,300	100.0%
1	千 葉 県	656	3,470	22,800	20,100	27.2%
2	茨 城 県	431	3,300	14,200	13,200	17.9%
3	埼 玉 県	181	3,570	6,460	5,310	7.2%
4	大 分 県	170	2,120	3,600	3,400	4.6%
5	福 岡 県	151	1,170	1,770	1,620	2.2%
6	鹿 児 島 県	131	1,370	1,790	1,540	2.1%
7	鳥 取 県	124	2,200	2,730	2,560	3.5%
8	群 馬 県	120	2,660	3,190	2,720	3.7%
9	高 知 県	99	1,190	1,180	1,080	1.5%
10	静 岡 県	95	2,300	2,170	2,070	2.8%

5. 今後の気象予報

1ヶ月（3月4日～4月3日）予報に見る確率

	平均気温（1週目）3/4～10	平均気温（2週目）3/11～3/17	平均気温（3～4週目）3/18～4/3
北日本	低 20% 並 30% 高 50% 高い	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み
東日本	低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	低 30% 並 50% 高 20% 平年並 の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 20% 並 50% 高 30% 平年並 の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
	太平洋側	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い 見込み
東日本	日本海側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		低 40% 並 30% 高 30% ほぼ平年並 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成29年3月2日発表 気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（3月～5月）予報に見る確率

	平均気温 3月	平均気温 4月	平均気温 5月
北日本	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み
東日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い 見込み
西日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み
沖縄・奄美	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並 の見込み	低 20% 並 30% 高 50% 高い 見込み

		降水量 3月	降水量 4月	降水量 5月
北日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並 の見込み

出典：「全般3ヶ月予報（3～5月）解説資料」（平成29年2月24日発表 気象庁地球環境・海洋部）